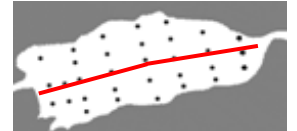


2023年11月 宍道湖 塩分・溶存酸素

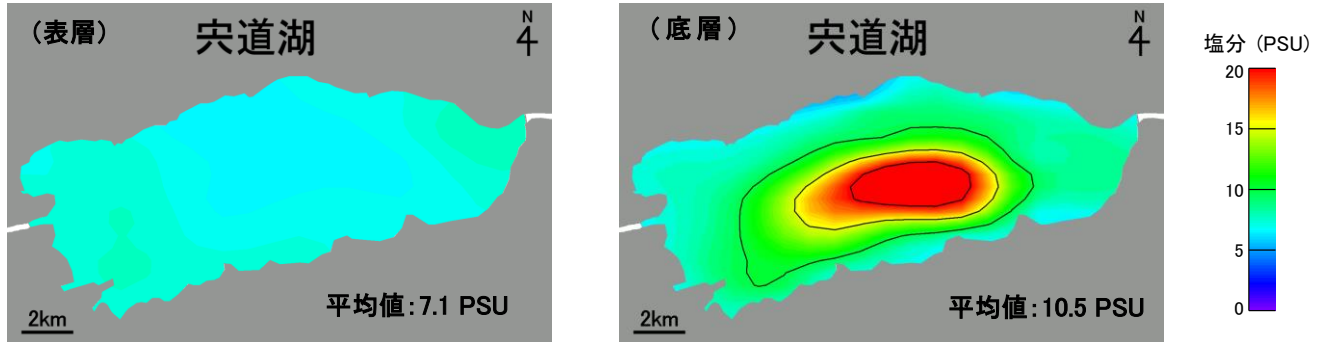
水域	調査日	天候	海況	水温 (表層平均)
宍道湖	2023年11月8日	曇り	西南西 1 m/秒 → 北西 5 m/秒	17.9 °C

● 調査地点 — 鉛直ライン



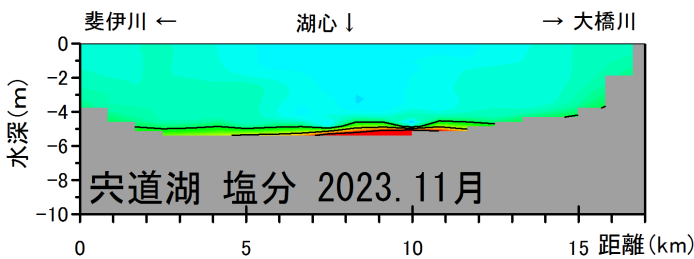
調査定点図

● 塩分 水平分布 (表層:左、底層:右)



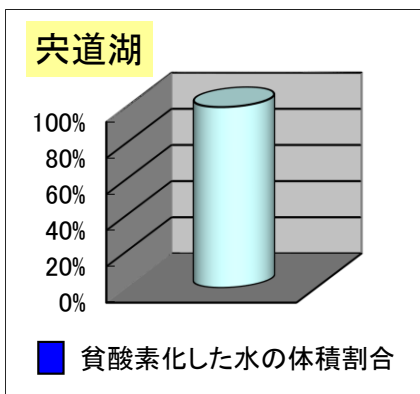
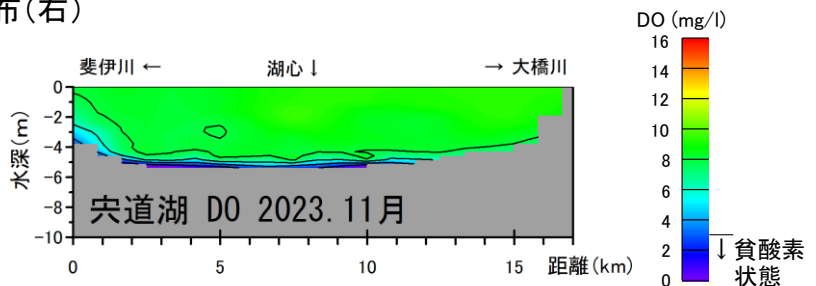
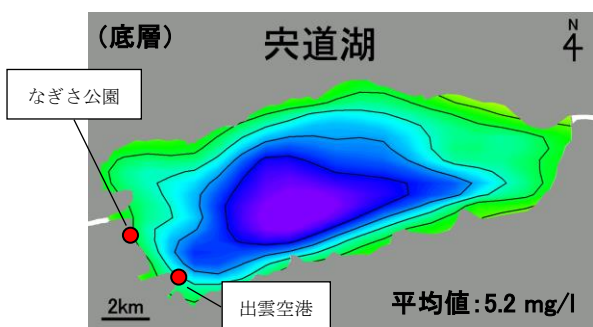
※塩分濃度のスケールは2020年6月より変更となっています。過去と比較する際はご注意ください。

● 塩分 鉛直分布



塩分の値は、表層では6.6~7.9PSUとなり、宍道湖全域で大きな差は見られませんでした。底層では、湖心付近の5m以深で高い値を示し、最も高い地点では22.6PSUに達していました。平年値と比較すると、表層・底層ともに平年を大きく上回っていました(『R5年度水質状況』を参照)。

● 溶存酸素 水平分布(底層:左)と鉛直分布(右)



溶存酸素濃度は、来待沖を中心とした水深5m以深の層で低い値を示しました。前日に西岸(なぎさ公園付近)で青潮様の現象が発生しましたが、西岸の貧酸素化は出雲空港沖の底層でわずかに残る程度でした。3mg/l未滿の貧酸素水の体積割合は0%に近い一方で、貧酸素水が湖底付近にごく薄く広く残存していたため、湖底面積に占める貧酸素水の割合は26.9%となりました。

貧酸素水体積割合は、先月に引き続き平年並みの値となりました(『R5年度水質状況』を参照)。

● R5 年度水質状況

